

本日(10月23日)の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて本日10月23日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

本日(10月23日)、基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (10/22)	基準価額 (10/23)	変化率
ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド	4,844 円	4,426 円	-8.63%
アイエヌジー・海外株式オープン	6,244 円	5,707 円	-8.60%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	10月21日終値	10月22日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	9,033.66	8,519.21	-5.69%
FT100 指数(英国)	4,229.73	4,040.89	-4.46%
DAX 指数(ドイツ)	4,784.41	4,571.07	-4.46%
CAC40 指数(フランス)	3,475.40	3,298.18	-5.10%

※海外の株価指数は10月22日と10月23日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	10月22日の評価値	10月23日の評価値	変化率
ドル/円	100.46	97.67	-2.78%
ユーロ/円	130.81	125.10	-4.37%
英ポンド/円	166.78	158.49	-4.97%
豪ドル/円	68.37	64.83	-5.18%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

(出所)ブルームバーグ



【基準価額下落の要因】

基準価額が本日5%を超過する下落となったファンドは海外の株式を実質的な主要投資対象としております。これらのファンドの下落要因は、海外の株式市場の下落と主要通貨に対する円高となっております。

【海外株式】

10月22日の欧州株式市場は、21日の米国株の下落や22日のアジア市場の急落の流れを受け、下落して始まりました。世界景気の低迷懸念と資源価格の下落を受けて資源株が下落したほか、依然として不透明感が強い金融株を中心に下落しました。米国株式市場が下落して始まったこともあり、一日の安値圏で引けました。

主要指数は、英国のFT100指数が4.46%、ドイツのDAX指数が4.46%、フランスのCAC40指数が5.10%の下落となりました。

米国では主要経済の発表はなかったものの、主力銘柄の決算内容が低調だったことに投資家の注目が集まりました。原油価格が2007年6月以来の水準まで下落したことを受けてエネルギー、素材などの景気敏感株が大幅下落となりました。

主要指数ではダウ工業株30種平均が5.69%の急落で9000ドルの大台を再び割って10月10日の安値に接近したほか、S&P500種株価指数は6.10%、ナスダック総合指数は4.77%の下落となりました。

【外国為替市場】

外国為替市場では世界経済の先行き懸念と投資家のリスク回避の動きが重なって、再び円高の動きが強まりました。

英国の中央銀行であるイングランド銀行のキング総裁が、英国はすでにリセッション入りしているとの見解を示したため、利下げ観測が広がりました。大陸欧州の景気にも懸念が広がっており、英ポンド、ユーロが対米ドルで大幅安となりました。

新興国通貨も、一部の国がIMF(国際通貨基金)の支援を要請したことから懸念が広がり、米ドル建て債券の値下がりとともに急落しました。また、10月23日の早朝にニュージーランドが利下げを実施したことから、ニュージーランド・ドルやオーストラリア・ドルも下落しました。

米ドルは上記の通貨に対して強い動きとなったものの、日本円に対しては株式市場下落の影響を受けて弱含みました。その結果、米ドルの下落率は3%以下にとどまりましたが、その他の主要通貨は4、5%前後の下落となりました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15% (税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89% (税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。